

《担当者名》明野伸次 [akeno@hoku-i-ryo-u.ac.jp]  
 福井純子 [sfukui@hoku-i-ryo-u.ac.jp]  
 竹生礼子 [take-r@hoku-i-ryo-u.ac.jp]  
 塚本容子 [yokot88@hoku-i-ryo-u.ac.jp]  
 三国久美 [mikuni@hoku-i-ryo-u.ac.jp]  
 木浪智佳子 [kinami@hoku-i-ryo-u.ac.jp]  
 常田美和 [tsuneta@hoku-i-ryo-u.ac.jp]  
 山田律子 [rich@hoku-i-ryo-u.ac.jp]  
 桑原ゆみ [yumi-k@hoku-i-ryo-u.ac.jp]

【概要】

看護専門領域における研究課題を明確にした上で、適切な研究デザインと研究方法を選択して研究計画書を作成し、倫理的配慮に基づいた看護研究を自立して実施、独自の価値を有する論文を作成できる力量を培う。

【学修目標】

1. 先行文献をクリティークする中で、オリジナリティのある研究課題を明確にできる。
2. 研究課題にあった研究方法を選択して、自立して研究を遂行できる。
3. 研究成果を学会発表、学会誌に投稿し、博士の学位論文を作成できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
	1. 研究課題の範囲	1) 学生の専門看護領域における研究課題であること。 2) 看護専門領域の対象者の健康の維持・増進・疾病からの回復過程、および安らかな死への準備という看護援助の開発、向上に資する内容であること。	明野 福井 竹生 塚本 三国 木浪 常田 山田 桑原
	2. 研究過程	1) 研究課題の明確化 (フィールドワークや先行文献の検討) 2) 研究計画書の作成(適切な研究方法の選択) 3) 倫理的な手続きを経てのデータ収集 4) データの分析と検討 5) 研究論文の作成 6) 調査協力者への結果の報告と研究成果の報告	明野 福井 竹生 塚本 三国 木浪 常田 山田 桑原

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部(研究科)、学校の授業実施方針による

【アクティブ・ラーニング】

導入している

【評価方法】

課題取り組み状況(30%)、および論文審査基準に基づく最終審査試験結果(70%)で評価する。

【教科書】

なし

【参考書】

随時提示する。

**【学修の準備】**

自ら研究を進め、疑問点や指導を受けたい内容を予め教員と調整して、授業に臨む。

**【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】**

本科目の内容は、深い学識と高度な実践力、指導的役割の発揮力を修得するという看護学専攻博士後期（博士）課程のディプロマ・ポリシーに適合している。